

財政収支(1月)

(1) 1月の歳入は前年同月比26.7%減、税収は同17.5%増。歳出は前年比13.0%増。

(2) 結果として1月の財政収支は241.54億リラの赤字(前年同月比212.3%減)。プライマリーバランスは22.11億リラの赤字(前年同月比106.5%減)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2020年(A)	2021年(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	1,221.70	896.09	▲26.7%
税収	674.16	792.27	17.5%
所得税	173.22	177.50	2.5%
法人税	5.19	4.73	▲8.9%
付加価値税(国内及び輸入)	196.43	274.27	39.6%
特別消費税	129.30	161.07	24.6%
その他税収	1.70	1.75	2.8%
税外収入等	5.48	1.04	▲81.0%
歳出(b)	1,006.69	1,137.63	13.0%
人件費	292.22	327.85	12.2%
物品及びサービスの購入	40.78	33.58	▲17.7%
経常移転	370.78	449.72	21.3%
資本支出	91.83	25.24	▲72.5%
支払利子(c)	127.45	219.43	72.2%
その他歳出	0.84	0.82	▲2.2%
財政収支(a-b)	215.01	▲241.54	▲212.3%
基礎的財政収支(a-(b-c))	342.47	▲22.11	▲106.5%

経常収支(2020年通年)

(1) 2020年の経常収支は、367.24億ドルの赤字(前年同期は67.59億ドルの黒字)。

(2) 2020年の貿易収支(物品)は378.78億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は91.80億ドルの黒字で前年同期から黒字幅縮小。

データ:中央銀行 単位:億ドル

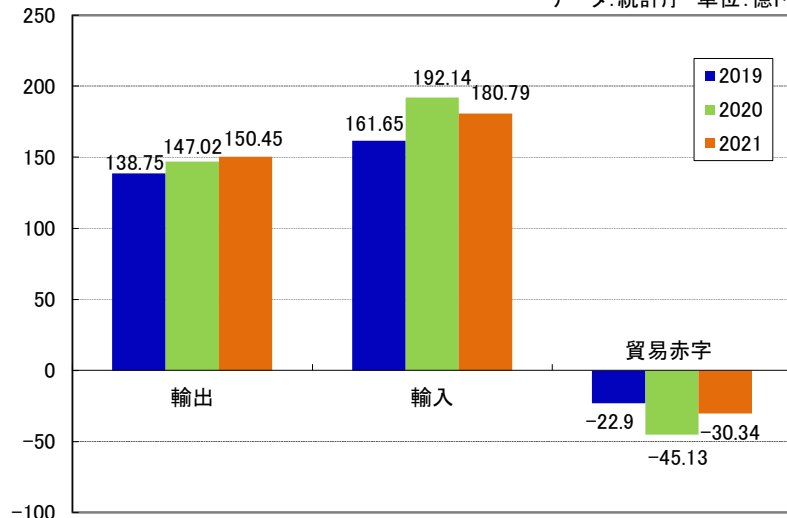
内訳	2019年(A)	2020年(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	67.59	▲367.24	▲643.3%
貿易収支(物品)	▲167.51	▲378.78	▲126.1%
サービス収支	355.28	96.40	▲72.9%
旅行収支	257.19	91.80	▲64.3%
第1次所得収支	▲128.43	▲87.69	31.7%
第2次所得収支	8.25	2.83	▲65.7%
労働者送金	1.84	1.69	▲8.2%
資本移転等収支	0.34	▲0.39	▲214.7%
金融収支	13.08	▲400.39	▲3161.1%
直接投資	▲63.23	▲46.31	26.8%
証券投資	14.47	54.93	279.6%
その他投資	▲1.40	▲90.39	▲6356.4%
外貨準備	63.24	▲318.62	▲603.8%
誤差脱漏	▲54.85	▲32.76	40.3%

貿易収支(1月)

(1) 1月の輸出額は150.45億ドル(前年同月比2.3%増)、輸入額は180.79億ドル(同5.9%減)となり、この結果、貿易収支は30.34億ドルの赤字(同32.8%赤字幅拡大)となった。

(2) 1月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は43.0%(前年同月は43.8%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は31.8%(前年同月は27.5%)となっている。

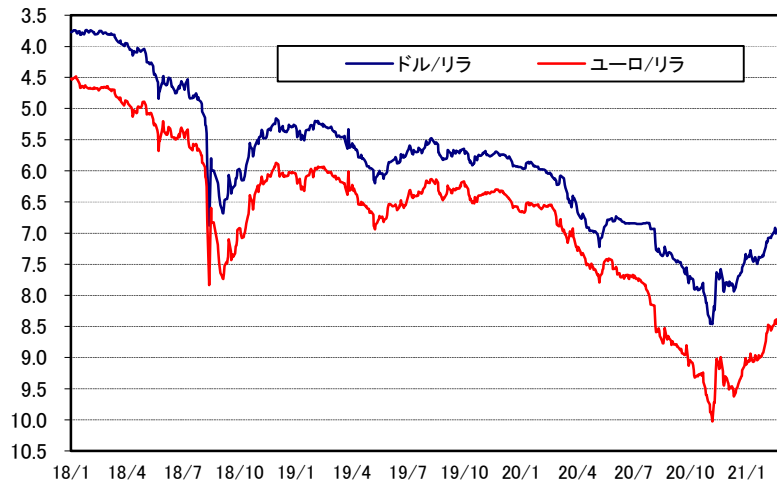
データ:統計庁 単位:億ドル



為替(2月)

中銀のタカ派的政策スタンス、リスクプレミアムの低下等を好感し、2月下旬までリラ高基調で推移していたが、大統領のアルバイラク前財務大臣擁護発言(22日)、米の長期金利上昇(25日)等を受けてリラ安が進行。2月末は1ドル=7.37リラ(前月末比0.7%安)、1ユーロ=8.94リラ(同0.8%安)となった。

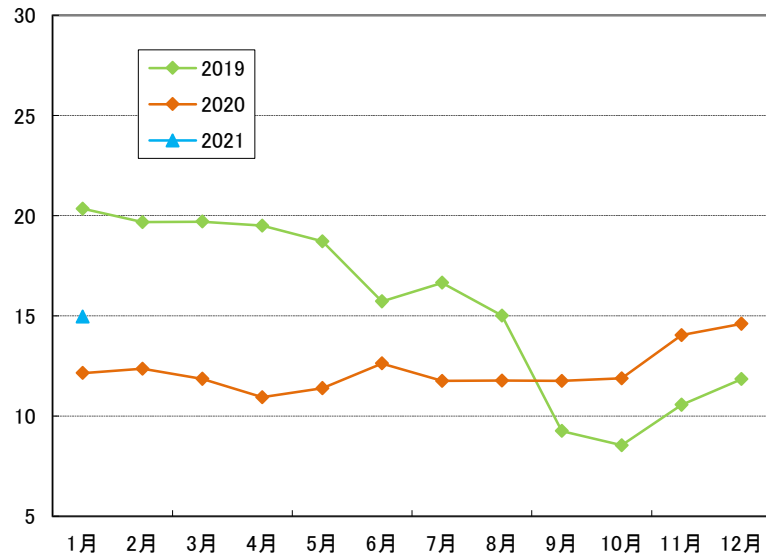
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(1月)

- (1)2021年1月の消費者物価は前年同月比14.97%増、前月比1.68%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比では雑貨・サービスが同24.53%、前月比では医療が同4.25%でそれぞれ最も上昇した。
- (3)2021年末のインフレ率の中銀目標(1/28時点)は前年同月比9.4%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比26.16%増、前月比2.66%増となった。

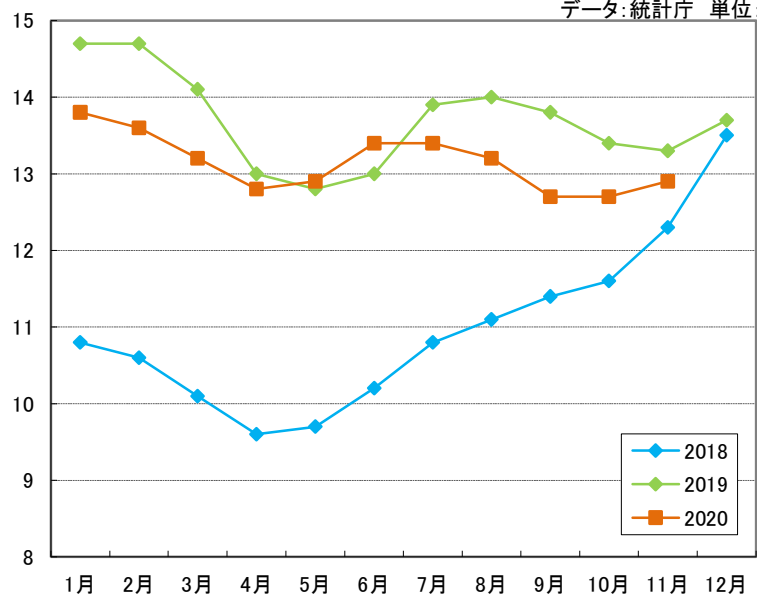
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(11月)

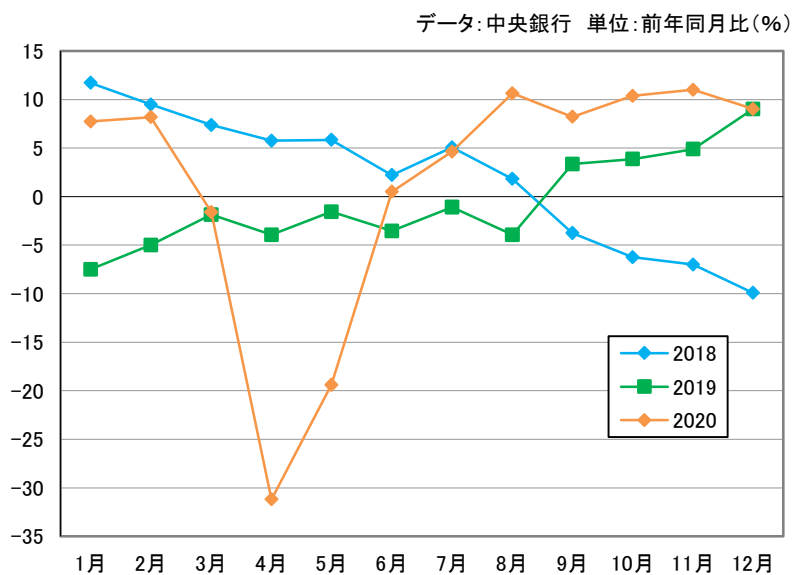
- (1)2020年11月の失業率は12.9%。前年同月から0.4ポイント低下、前月から0.2ポイント上昇。
- (2)労働力人口は3107.1万人、就労者数は2706.6万人、失業者数は400.5万人。
- (3)男性の失業率は11.9%、女性は15.0%。若年層(15-24歳)の失業率は25.4%となっている。

データ:統計庁 単位:%



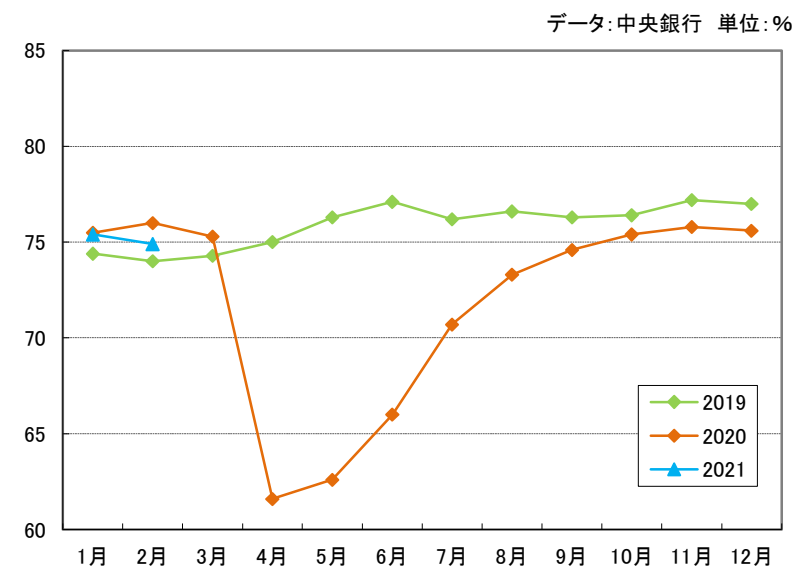
鉱工業生産(12月)

(1)2020年12月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)9.0%増、前月比(季節及び日数調整後)1.3%増。
 (2)分野別では、中間財が前年同月比12.9%増、耐久消費財が同8.2%増、資本財が同7.8%増となった。



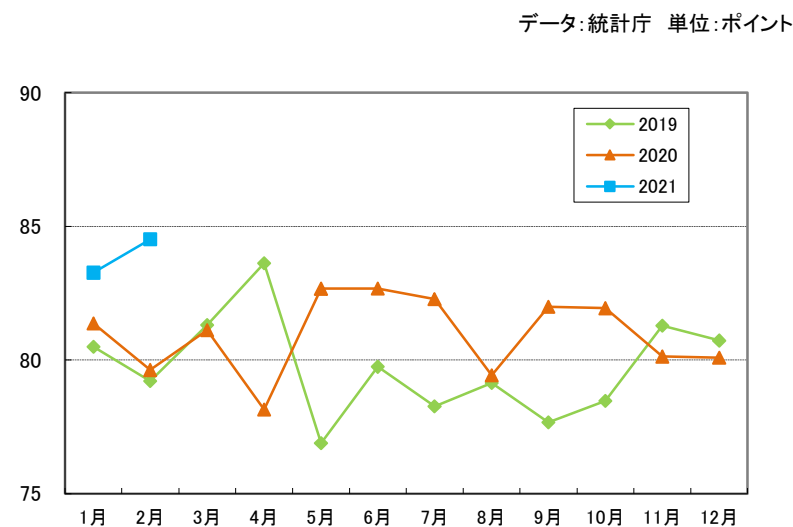
設備稼働率(2月)

(1)2月の設備稼働率は74.9%となり、前年同月から1.1ポイント、前月から0.5ポイントそれぞれ低下。
 (2)製造業の分野別では、紙及び紙製品(83.3%)が最も稼働率が高く、飲料(54.8%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(2月)

(1)2月の消費者信頼感指数(季節調整値)は84.5ポイントで、前月から1.2ポイント上昇。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」がそれぞれ前月から上昇し、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」が前月から低下した。



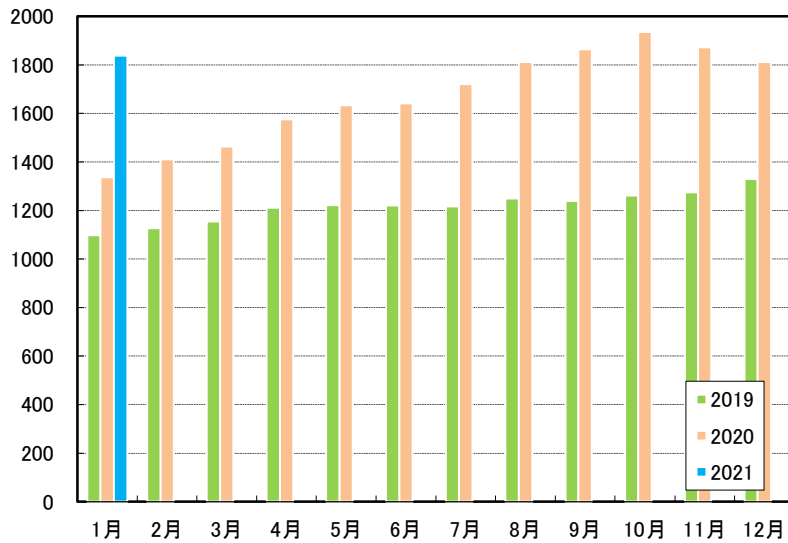
中央政府債務残高(1月)

(1)1月末時点での中央政府債務残高は1兆8376億リラとなり、前月比1.4%増、前年同月比37.5%増となった。

(2)また、国内債務比率は57.9%、自国通貨債務比率は44.1%(2020年末43.8%)となっている。

(3)なお、債務残高のうち円は2.2%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

データ:財務省 単位:10億リラ

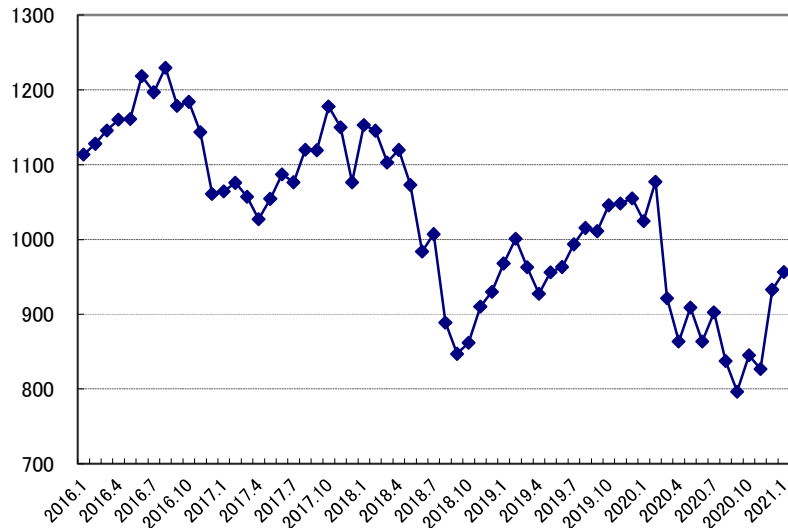


外貨準備高(1月)

(1)1月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は956.75億ドルとなった。

(2)前月から23.98億ドル増加し、2ヶ月連続増加となった。

データ:中銀 単位:億ドル

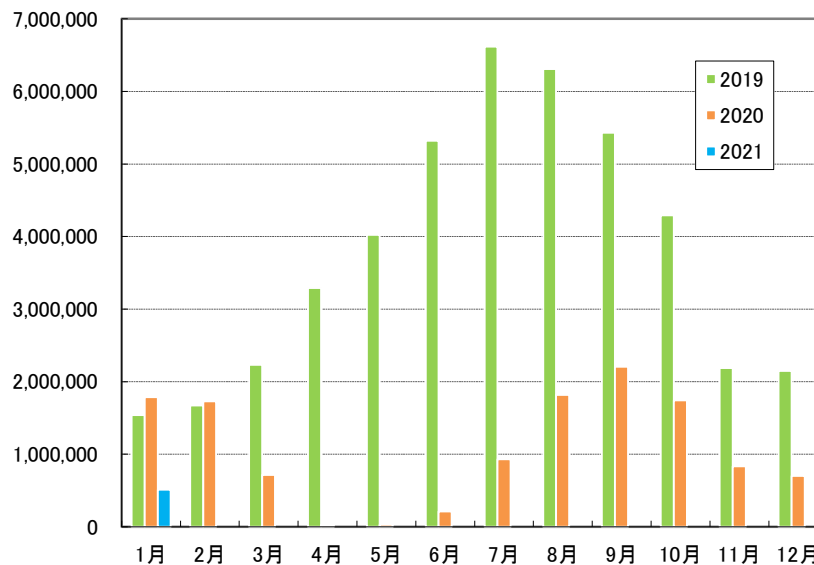


外国人訪問者数(1月)

(1)1月の外国人訪問者数は509,787人で、前年同月比71.48%減。日本は321人で前年同月比95.18%減であった。

(2)国別ではロシアが最も多く、89,411人で全体の17.54%を占め、以下、イラン(37,993人)、ブルガリア(30,693人)となっている。

データ:文化観光省 単位:人

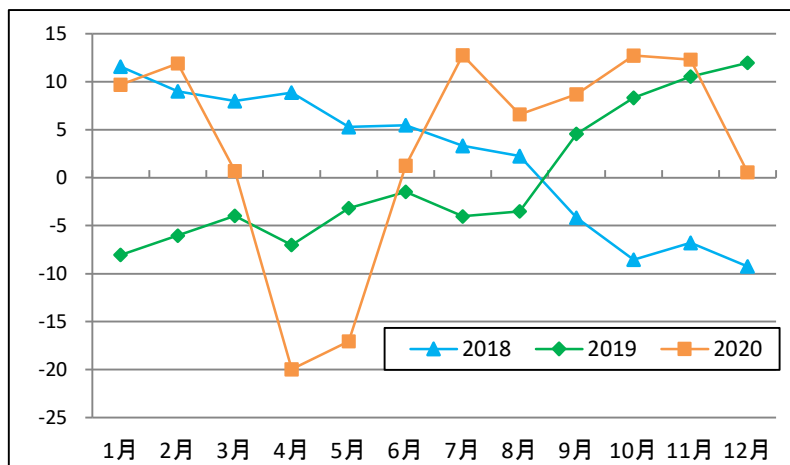


小売売上高(12月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)2020年12月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)0.6%増、前月比(季節及び日数調整後)4.2%減。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比8.8%増、通販が同73.0%増、繊維・衣料が同18.6%減となった。

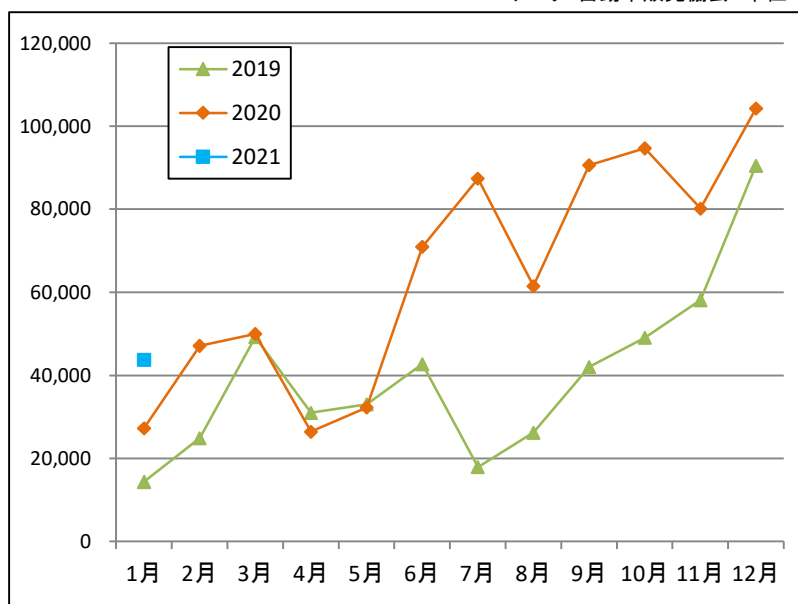


新車販売台数(1月)

データ:自動車販売協会 単位:台

(1)1月の新車販売台数は43,728台で前年同月比60.3%増。

(2)1月の内訳は乗用車が35,358台(前年同月比60.6%増)、小型商用車が8,370台(同59.2%増)となった。



住宅販売戸数(1月)

データ:統計庁 単位:戸

(1)1月の住宅販売戸数は70,587戸で前年同月比37.9%減となった。

(2)1月は新築が22,268戸(前年同月比38.2%減)、中古が48,319戸(同37.7%減)。

(3)1月の住宅ローンでの購入は10,732戸(前年同月比74.6%減)、その他が59,855戸(同16.1%減)。

